

特集

太陽系外惑星系に名前をつけよう [2]

日本サイトの構築

飯塚礼子（太陽系外惑星命名支援 WG）

1. 背景

「太陽系外惑星系に名前をつけよう」と IAU が設けたこのイベントに、多くの天文愛好者グループや小中高校の理科部・天文部・地学部や大学サークルなどが参加することで、宇宙への興味関心と認識が深まることが期待されています。ところが、公式サイトが英語表記であるために参加に困難をきたす団体があったり、太陽系外惑星について一定の知識を持たないために活動できない団体があったりするのではないかと懸念されました。そこで天文教育普及研究会では、2014 年 9 月に太陽系外惑星命名支援ワーキンググループ（以下 WG）を結成し、まず、言語の壁や知識の不足を補うための一助になればと日本語で構築した Web サイト[1]（以下、サイト）(図 1) をアップし運用を開始しました。

今回命名の候補に挙がっている中には、2003 年に国立天文台岡山天体物理観測所の望遠鏡で日本初の発見となった系外惑星や、ハワイのすばる望遠鏡、名古屋大学や大阪大学などの日本のグループによって発見された系外惑星も入っています。

2. サイト構築の組織

サイトのコンテンツとして

① IAU 公式サイト[2]の日本語翻訳と登録の支援

② 系外惑星についての知識支援

の二つを考えましたが、当会の組織力だけでは、海外に対しても、また国内の宣伝に関しても弱いと思われました。そこで、日本天文協議会の中に「IAU 太陽系外惑星系命名支援 WG」を結成し、オールジャパンでこのキャ

ンペーンの支援をしようということになりました。ただし、サイトに関しては天教の WG が主体となって構築し、系外惑星の研究の専門家をアドバイザーにお迎えしてサイトの中身を強化しています。

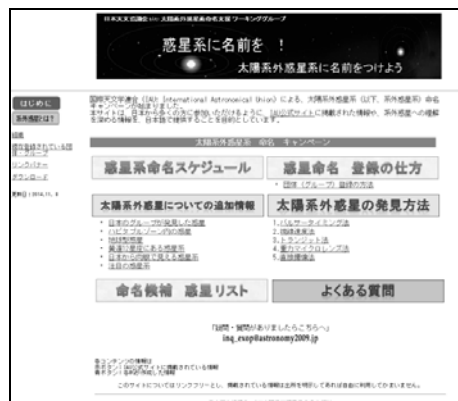


図 1 日本語命名支援サイト [1]

3. 日本サイトの内容

日本から多くの方に参加いただけるように、IAU 公式サイトに掲載された情報は、日本サイトにも掲載されており、

- ・惑星系命名スケジュール[3]
- ・「惑星命名 登録の仕方」

の 2 項目に分けてあります。特にネット上から団体登録するための項目は多く、英語表記と日本語訳に対比させたサイトを提供しています[4]。また、団体登録については、解り易いように登録例も記載予定です。

また、系外惑星についての知識支援として、

- ・太陽系外の追加情報
- ・太陽系外惑星の発見方法

のサイトも設けてあります。そして系外惑星命名候補がどの星座にあるのか、日本のグル

ープが発見した系外惑星はどれなのか(図2)、注目すべき惑星については更に解説を設けています。

日本のグループが発見した惑星

No.	惑星名	発見した人(グループ)	発見手法	使用された惑星機
1	HD 104006 b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
2	Kepler-90c b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
3	HD 201811a b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
4	Kepler-90d b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
5	HD 81809 b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
6	HD 201812a b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
7	Kepler-90e b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
8	HD 104006 b	佐藤文康氏(+1)他	視線速度法	岡山J800惑星機
9	HD 140510 b	WPC(+2)	視線速度法+トランジット法	宇保の望遠鏡他
10	HD 17156 b	WPC(+2)	視線速度法+トランジット法	宇保の望遠鏡他
11	Kepler-91a b	WPC(+2)	トランジット法+視線速度法	宇保の望遠鏡他
12	OGLE-2005-BLG-003 b	WPC(+4)他	重力マイクロレンズ法	岡山J800惑星機
13	OGLE-05-071L b	WPC(+4)他	重力マイクロレンズ法	岡山J800惑星機
14	OGLE-05-390L b	WPC(+4)他	重力マイクロレンズ法	岡山J800惑星機
15	OGLE-05-106L b	WPC(+4)他	重力マイクロレンズ法	岡山J800惑星機
16	MOA-2007-BLG-192-L b	WPC(+4)他	重力マイクロレンズ法	岡山J800惑星機
17	MOA-2007-BLG-402-L b	WPC(+4)他	重力マイクロレンズ法	岡山J800惑星機

図2 日本のグループが発見した系外惑星  
(<http://exoplanet.jp/exoplanet.html> より)

命名候補に挙げた惑星系のリストは「命名候補惑星リスト」サイトにあります。多くの方に親しんでいただけるよう、その惑星系がどの星座に位置しているのかなど、IAUには無い情報も掲載しています。日本から見える星座の中にある場合は可能な限り星景写真に位置を明記しています。

「よくある質問・FAQ」には、回答も用意していますが、更に疑問・質問があった場合に備え、質問メールアドレス[5]も用意しました。今後もキャンペーンのスケジュールに従って、コンテンツの充実を目指していきます。

#### 4. おわりに

多くの方にこのキャンペーンの参加と協力をお願いするとともに、関係者やご興味のある方々へこのキャンペーンをお知らせください。素材提供としてリンクを設ける際に使っていただくリンクバナー用画像(図3)を用意しました[6]。リンクにあたっての申請は不要で、自由に利用可能ですが、掲載される情報には出所([1])を明示してください。情報提供のチラシもアップしましたので、ご使用ください。



図3 日本語 Web サイトのバナー

既に多くの国々にて団体登録がおこなわれています。しかしながら、日本からの団体登録は少ないようです。特に日本のグループが発見した系外惑星には、その名付け親になっていただきたいと願っています。しかし、その前には、その権利を得るための団体登録が必要です。日本サイトを活用して2014年12月末までに多くの日本の団体が登録されることを願っています。

なお、2014年10月以前に登録したクラブ情報はいったんリセットされ、10月開設のサイトで再登録が必要ですのでご注意ください。

#### 文献等

- [1] <http://exoplanet.jp/>
- [2] <http://nameexoworlds.org/>
- [3] 飯塚礼子・臼田・佐藤功美子・大西浩次 (2014), 天文教育, Vol. 26 No.5 pp.2-3.
- [4] 臼田・佐藤功美子 (2014), 天文教育, Vol. 26 No.6, p.9-24.
- [5] [inq\\_exop@astronomy2009.jp](mailto:inq_exop@astronomy2009.jp)
- [6] <http://exoplanet.jp/banner.html>